

オホーツクの風

発行所
北見赤十字病院の
明日を考え支援する会
事務局
北見市緑ヶ丘1-10-16
Tel 0157-61-0684

平成26年2月26日(木) ウィンター特集(0010号)



平成26年度第5回総会記念 きたみ医療サミット ウィンター

北見赤十字病院では、新病院の開院より一足早く、「オホーツクPETセンター」が、4月1日にオープンします。その概要とがん治療の最新情報を勉強すべく、同院吉田院長、武内北見市地域医療対策室長を招き、平成26年2月3日、同院講堂で平成26年度第5回総会記念「きたみ医療サミット/ウィンターPETセンターはオホーツクの宝物」を開催した。

ペットセンターの概要

逢坂 北見赤十字病院「オホーツクPETセンター」の施設概要やそのオープンの予定などを吉田院長にお聴き致しました。

吉田 北見赤十字病院の明日を考え支援する会にはいつもお世話になっていいること感謝しています。

しました。職員で書道に覚えのある人の習字です。玄関の横にそれを設置して、建物の東側には「北見赤十字病院オホーツクPETセンター」と名前を入れました。

オープンは4月1日の予定です。施設の概要ですが、ペット画像に癌の細胞が見えるようにするお薬を作る装置・サイクロトロンがあり、お薬をつくるきれいな工場という感じですが、排出する水もすべて管理されています。



待合室は10室ぐらゐありまして、仕切られていて検査をするのを待ったりするところと、お薬を作る「サイクロトロン」というのは大変いい機械で、メーカは住友重機です。PET/CT撮影装置はシーメンス社の「True Point」という機器

です。逢坂 ここで行政の立場からPETセンターの設置までのご苦労などお話を願います。竹内 ペットの導入において行政としてどういった苦労があったかということですが、吉田先生のご苦労の賜物であつて、行政としては苦労はないんですが、北海道には6つの3次医療圏があつて、

外部の方の意見をたくさんいただき、出来るだけこれかなえようと、今回その中で一番要望が高かったのがPETセンターでした。このPETセンターが実際に検査できる運びとなりましたのも、北見市や北見市議会、管内の市町村の方々の厚い支援があつたからだと感謝しています。その支援を忘れないようにと、職員皆で相談して定礎銘板の題字を「感謝」に

ここはオホーツク第3次医療圏です。全国でPETが導入されていなのがこのだけだったので、新病院を構想するとき、吉田院長先生は「こんな病院にしたいプロジェクト」を立ち上げ、谷川会長さんその委員になって下さいました。市民やいろいろな団体から、「新し

（第2面に続く）